

# 寸言

一般社団法人日本航空宇宙工業会  
常務理事

山北 和之



## 就任にあたって

本年5月の当工業会第4回定時総会においてご承認をいただき、新たに常務理事に就任致しました山北和之です。本年3月末まで防衛省技術研究本部艦艇装備研究所に勤務し、主に水槽関係の研究に従事して参りましたほか、本部等で研究開発業務計画にも長年携わってきました。航空宇宙とは関係が少ない領域出身ですが、US-2の着水特性や成層圏プラットフォームの運動特性試験などにも関与したことがあり、また業務計画作成等の立場からこれまで様々な航空機、誘導武器の研究開発に関わって参りました。今回、我が国の技術をリードし、安全保障にも直結する当工業会の活動に加わることとなり、重責に身の引き締まる気持ちです。

着任後すぐとなりましたが、2015年パリ国際航空宇宙展に出展総括責任者として参加して参りました。詳しい報告は本誌に別途なされると思いますので、ここでは日本ブースに鈴木庸一在仏特命全権大使を始めとする海外を含めた大勢の方々のご来場をいただき、盛況であったことを申し添えおくと共に、出展現場で汗をかかれた皆さんはもちろんのこと、これを下支えされた多くの方々のご努力に対しお礼を申し上げます。さらに当航空宇宙展では、来年10月に東京ビッグサイトで開催される2016年国際航空宇宙展（JA2016）の海外関係者向け説明会も実施されました。皆様ご承知のとおり、現在、航空機産業は多くの企業群が国際的に連携して参加する形態が広がっており、国外も含めた適切なパートナー探しが今後の重要課題です。JA2016はそのネットワーク造りの一つの最適な機会を提

供できる場ですので、会員企業各位等の今後の積極的な参加を切望しています。

話は少し脱線致しますが、何年か前から外国のエアラインを利用して感心することがあります。離陸前に放映される保安ビデオが、結構面白いのです。シートベルトだとか救命胴衣がでてくるあれで、ともすれば無味乾燥になりがちなものですが、それが、意外な展開の連続するCMフィルムか趣味のよい寸劇仕立てなどになっていて、洗練性もあります。欧米はある意味日本よりもドライな競争社会かも知れませんが、大事ではあるが経営上大きな利益に結び付くとも思えないこの種の保安ビデオの作成に注力する姿勢はさすがです。一般論として、日本人はやって良いと言われた以外のことには消極的な一方、外国人は禁止されていないことであれば何でもやって良いと考えられるそうですが、そうであるとしても、このような新しい試みが今後我が国からも多く発現することを祈ってやみません。前に述べた国際的な連携の潮流が今言ったような新発想のきっかけにもつながることを期待しています。

他者への期待ばかりでなく、私自身、今後とも業界のニーズにアンテナを張り、これまでの経験も踏まえつつ皆様の期待に応えられるよう、努力して参りたいと思います。日本の先端技術群をカバーする当工業会の活動を通じ、我が国が諸外国から敬意を払われ続ける存在であるような仕事のお手伝いができれば幸いこの上ありません。今後の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。